

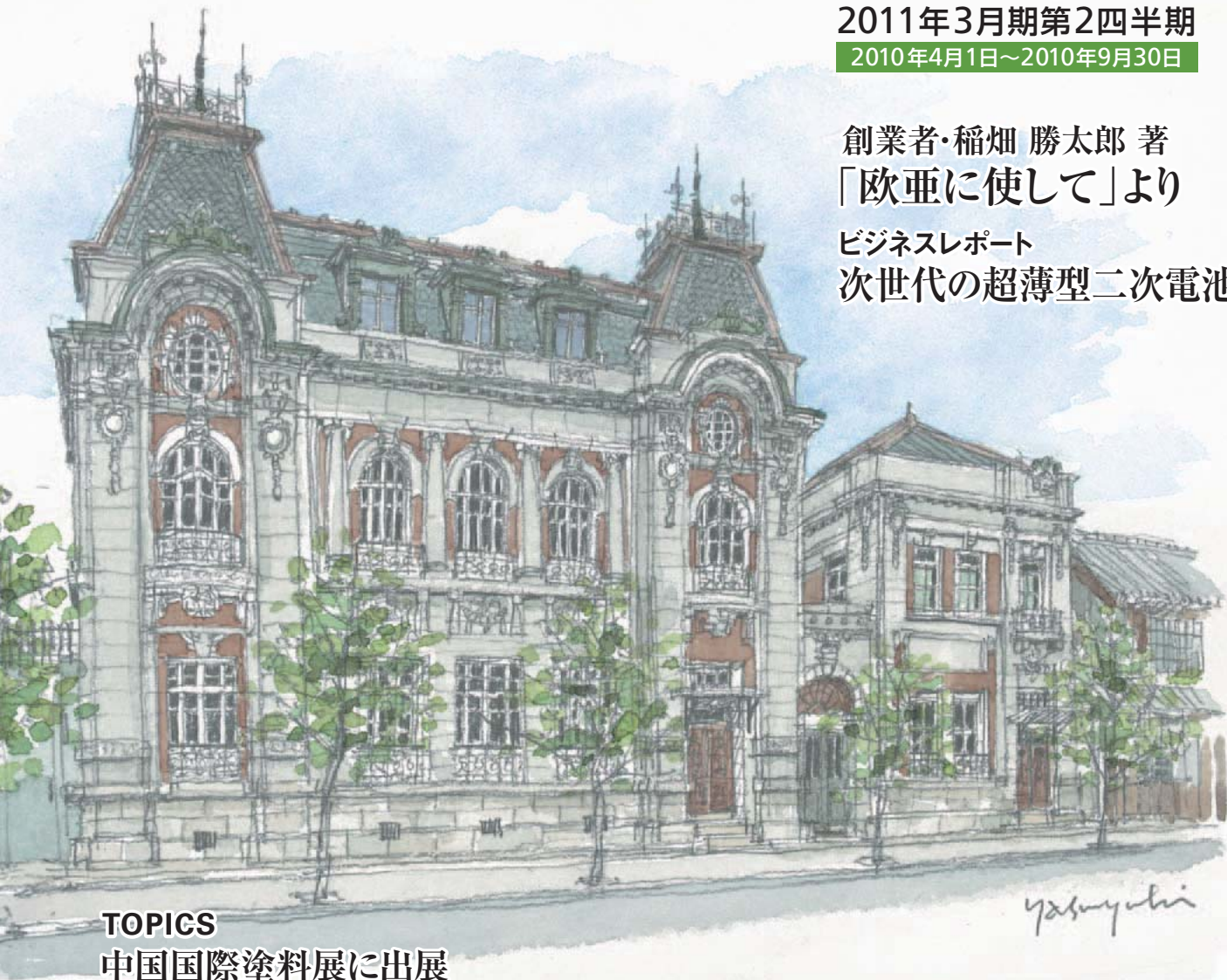
株主通信

2011年3月期第2四半期

2010年4月1日～2010年9月30日

創業者・稲畑 勝太郎 著
「欧亜に使用して」より

ビジネスレポート
次世代の超薄型二次電池



TOPICS

中国国際塗料展に出展

COC認証を取得

映画試写実験成功の地に駒札

IK 稲畑産業株式会社



表紙:大正7年10月に竣工した稲畑産業(株)旧大阪本社
(モノクロ写真を元に当時を知る元社員の話などからイメージとして彩色しています)
©Yasuyuki Yasuda



代表取締役社長

稲畑勝彦

株主の皆様には益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の2010年4月から9月までの事業の概況をご報告するにあたり、
一言ご挨拶申し上げます。

当期の日本経済は、アジアを中心とする海外経済の回復や各種政策の効果を背景に企業収益の改善が進み、回復基調となりました。しかし一方でデフレや急速な円高など景気の先行きに対する不透明感も生じました。

こうした中、当社の事業においては、主力の情報電子事業、合成樹脂事業に加え化学品事業も順調に推移し、連結ベースでの売上高は対前年同期比で22.2%増の2,316億4千6百万円となりました。利益面では、営業利益は同321.3%増の46億2千6百万円、経常利益は同372.9%増の48億7千1百万円となりました。当期純利益は、同822.4%増の39億4千8百万円となりました。

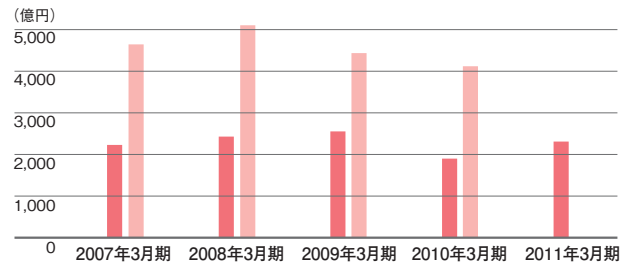
海外景気の下振れ懸念や為替レートの変動など、当社を取り巻く経済環境は今後も予断を許さない状況が続くことが予想されます。当社といたしましては、引き続き資金の効率化に努めるとともに営業力の強化を図り、収益力の向上にまい進する所存であります。

本年、創業120周年を迎えたことを機に、経営理念を「『愛』『敬』の精神に基づき、人を尊重し、社会の発展に貢献する」と改めるとともに、国内外の全社員が共有すべき価値観などを「目指す姿 Vision」「価値観 IK Values」として新たに取まとめました。当社の経営の根幹として受け継がれてきた「愛 敬」の人間尊重の精神を大切に、これからも一層皆様に信頼され、お役に立てる存在になるべく全力を尽くしてまいりたいと存じますので、何卒、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

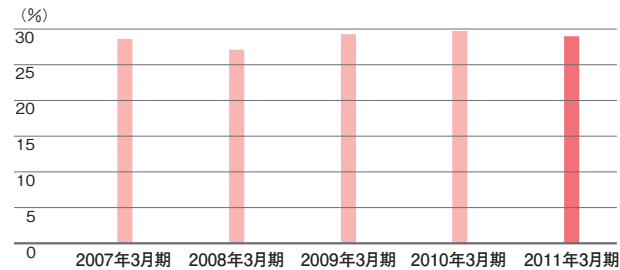
2010年12月

ファイナンシャル ハイライト(連結)

■売上高



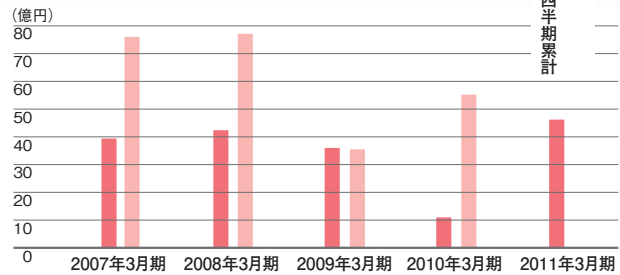
■自己資本比率



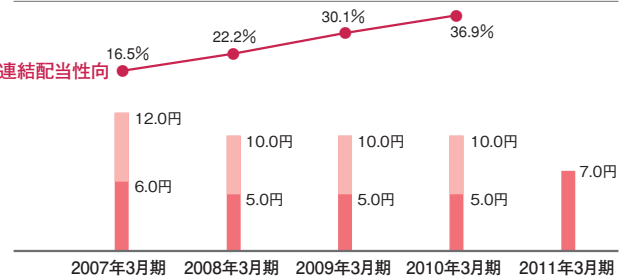
■業績の推移

決算年月	(単位)	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期 第2四半期累計
売上高	(百万円)	466,096	500,019	442,761	410,782	231,646
営業利益	(百万円)	7,605	7,659	3,576	5,510	4,626
経常利益	(百万円)	7,325	7,795	3,823	4,889	4,871
四半期(当期)純利益	(百万円)	4,570	2,922	2,162	1,762	3,948
純資産額	(百万円)	83,891	78,163	63,599	68,463	67,757
総資産額	(百万円)	287,808	284,637	215,279	229,964	230,749
1株当たり純資産額	(円)	1,276.44	1,184.90	963.50	1,042.19	1,032.48
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	72.76	44.98	33.22	27.08	60.72
自己資本比率	(%)	28.7	27.1	29.1	29.5	29.0
1株当たり配当額	(円)	12.0	10.0	10.0	10.0	7.0
連結配当性向	(%)	16.5	22.2	30.1	36.9	—

■営業利益

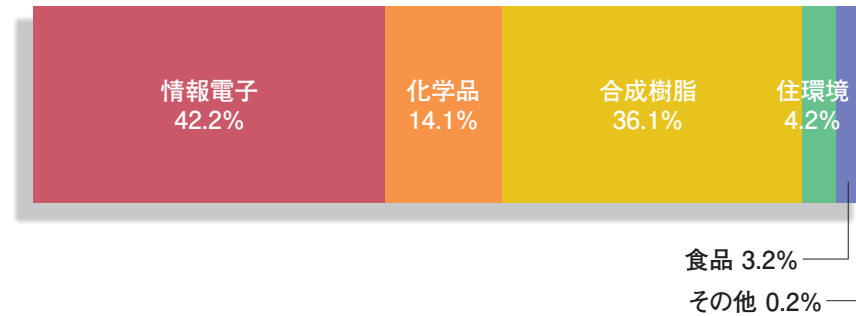


■1株当たり配当額



■売上高構成比 (2010年4月1日~2010年9月30日)

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



■事業区分別売上高と営業利益 (2010年4月1日~2010年9月30日)

(単位:百万円)

事業区分	売上高*	%	営業利益	%
情報電子	97,855	21.2	1,811	134.4
化学品	32,555	18.5	858	—
合成樹脂	83,558	32.2	1,812	553.9
住環境	9,788	12.1	-6	—
食品	7,475	-11.8	24	—
その他	413	-56.1	125	3.3
合計	231,646	22.2	4,626	321.3

(注)1.上記パーセント表示は、対前期増減率

2.化学品・住環境・食品事業は前第2四半期累計又は当第2四半期累計が営業損失のため増減率を「-」表示しております。

会社情報

役員

代表取締役社長 社長執行役員	稲畑 勝太郎	執行役員 タイ総支配人	岩上 潤
代表取締役 専務執行役員	情報画像本部担当・電子機能材本部担当・ 化学品本部担当	執行役員 東南アジア総支配人	尾崎 一郎
代表取締役 専務執行役員	経営企画室担当・情報システム室担当・ 財務経営管理室担当・業務管理室担当・ 人事総務室担当・リスク管理室担当・ 東京本社担当	執行役員 NCプロジェクト統括	上杉 隆
取締役 常務執行役員	海外事業担当・北東アジア総支配人	執行役員 合成樹脂第一本部本部長	望月 卓
取締役 常務執行役員	合成樹脂第一本部担当・合成樹脂第二本部担当・ 住環境本部担当・食品本部担当	執行役員 合成樹脂第二本部本部長	杉山 勝浩
取締役 執行役員	電子機能材本部本部長		
取締役 執行役員	内部監査室担当・経営企画室室長・ 財務経営管理室室長		
取締役 執行役員	情報画像本部本部長		
取締役	(住友化学株式会社 顧問)		
取締役相談役	稲畑 勝雄		
常勤監査役	星田 正嗣		
常勤監査役	佐藤 精一		
監査役	井原 實		
監査役	鈴木 修一		

(注)1.取締役 亀井 康夫は、社外取締役であります。
2.監査役 井原 實及び鈴木 修一は、社外監査役であります。
3.当社は、監査役 井原 實及び鈴木 修一を東京証券取引所及び大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届出ております。

会社の概要

会社名 ● 稲畑産業株式会社
創業年月日 ● 1890年10月1日
設立年月日 ● 1918年6月10日
資本金 ● 93億6千4百万円
従業員数 ● 553名(グループ会社への出向者を含む)
〔連結:3,918名〕

(2010年9月30日現在)

(2010年9月30日現在)

大阪本社 ● 大阪市中央区南船場一丁目15番14号
東京本社 ● 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
名古屋支店 ● 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
営業所 ● 松本営業所、三重営業所
九州営業所(霧島市)

株式情報

【発行可能株式総数】 200,000,000株
【発行済株式の総数】 65,159,227株
【株主数】 5,414名

【大株主の状況】

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	21.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,549	5.5
JP MORGAN CHASE BANK 385093	2,175	3.3
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,716	2.6
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,281	2.0
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	1,217	1.9
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,158	1.8
稲畑 勝雄	1,151	1.8
株式会社みずほ銀行	1,114	1.7

(注)1.持株比率は自己株式数(69,129株)を控除して計算しております。
2.「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」は、株式会社みずほ銀行が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については株式会社みずほ銀行の指図により行使されることになっております。
3.上記株主の英文名は、株式会社証券保管振替機構から通知された「総株主通知」に基づき記載しております。

(2010年9月30日現在)

株主メモ

事業年度 ● 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 ● 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

定時株主総会 ● 毎年6月開催
上場証券取引所 ● 東京・大阪証券取引所 市場第1部
証券コード ● 8098
単元株式数 ● 100株
公告の方法 ● 電子公告 当社のホームページに掲載します。
<http://www.inabata.co.jp/koukoku>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

会計監査人 ● 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号
銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人

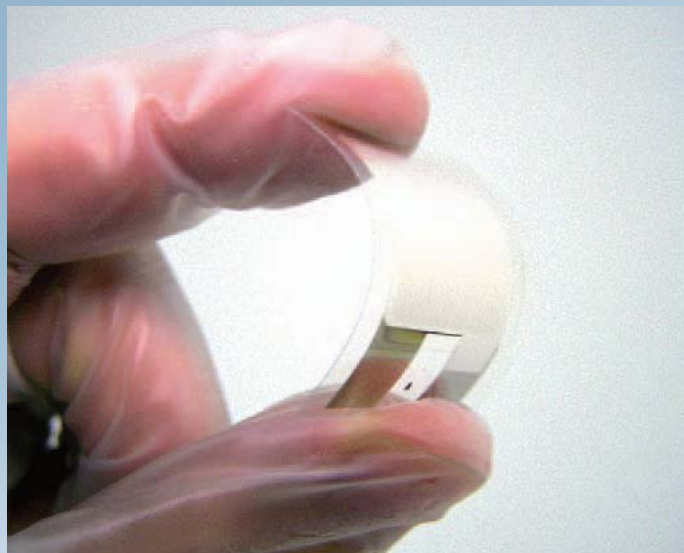
株主名簿管理人及び
特別口座管理機関 ● 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 ● 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) ● 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ● ☎0120-176-417
(ホームページURL) ● <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

【特別口座について】
株券電子化前にはふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

次世代の超薄型二次電池



GSカルテックス社開発の
Thin Film Battery
(全固体薄膜電池)
(写真提供:GSカルテックス社)
上は折り曲げた状態
下はシート状に繋がれたもの

環境保護・省エネなどの観点から、
電池市場では充電して繰り返し使える
二次電池に注目が集まっています。
さらに技術開発が進み、
様々な機能や形状の
二次電池が開発されています。
今回は、稲畑産業が扱っている
超薄型二次電池をご紹介します。



この度、石油・エネルギー事業を主力とする韓国GSカルテックス社が世界でも最も薄いとされる0.06ミリメートルのフィルム型二次電池を開発しました。0.06ミリとは約0.1ミリのオフィスのコピー用紙より薄く、髪の毛の太さと同様です。製造には、稲畑産業の主要仕入先である株式会社アルバックの真空成膜装置が使用されており、現在、稲畑産業・電子機能材本部の新しいテーマとして用途開発に取り組んでいます。

同二次電池を出展した第1回国際二次電池展(2010年3月3日~5日、東京ビッグサイト)では、多数のメディアが取材、テレビやラジオなどの番組で大きく取り上げられました。稲畑産業・電子機能材本部の中村



第1回国際二次電池展

庸マネージャーは「二次電池は小型化・安全化へのニーズがある中、GSカルテックス社が世界に先駆け、長寿命・安全性が特徴の固体電解質を用いて製品化し、量産化にこぎつけたことが注目を集めたのではないかと話しています。

GSカルテックス社の超薄型二次電池は、消費電力が小さい製品への展開が期待されています。例えばICチップを内蔵するスマートカードへの搭載。スマートカードに同二次電池を電源とする薄型ディスプレイや回路などを組み込めば、専用端末にかざした時や付近を通過した際、残高などの情報を表示することが可能になります。さらにはソーラー腕時計(注)、補聴器などの医療機器など、次世代製品への活用の

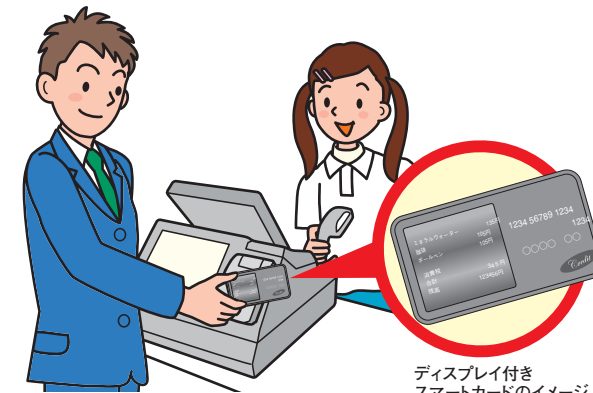


メディアによる取材

可能性が広がっており、非接触型充電に向けた研究開発も進んでいます。

「新しい用途を探し、製品の開発段階からユーザーと一緒に取り組む中、苦労も多いがチャレンジする面白さがある。製品技術の更なる向上を目指し、1~2年かけてじっくり取り組みたい。将来、稲畑産業の他本部とのコラボレーションで『メイド・バイ・イナバタ』の次世代製品ができるかも」と、中村マネージャーは今後の抱負を語っています。

(注)太陽や蛍光灯の光で電気を発生し、駆動力とする腕時計。二次電池を併用します。



ディスプレイ付き
スマートカードのイメージ



開発中の非接触充電パッド



中村マネージャー(中央)とプロジェクトメンバー

稲畑 勝太郎 著

「欧亜に使用して」より

稲畑産業の創業者・稲畑勝太郎は大正15年12月、仏領インドシナ訪問、第10回国際労働総会(於ジュネーブ)への出席、さらに日本経済の海外展開の可能性を探るべく約8ヶ月間の外遊に出発しました。後に外遊中の手記を「欧亜に使用して」として出版、天皇后両陛下にも献上されました。ここでは、創業者の足跡をたどりながらその一節をご紹介します。

1890-2010
YEARS



創業者
稲畑 勝太郎



昭和初期のリヨン・ローヌ川沿い



現在のリヨン

久恋の地リヨン

里昂(リヨン)は私に取っては、最も懐かしい土地である。私は明治十年に、京都府から仏国留学を命ぜられた際には、このリヨンへ来て、この工芸学校に入学したのであった。それから、同地の工業家マルナス氏の染色工場に入って染色の実地を研究し、満三年間この工場で、徒弟として実習した。その後リヨン大学に入って、応用化学を専攻し、前後八年間リヨンに留まっていたのである。私の工業家としての素地を作ってくれたのもリヨン市である。私の青少年時代を育んでくれたのもリヨン市である。私に取って久恋の地ならぬ筈がない。

昭和二年 於LYON
(本文より抜粋。仮名遣いなどは現代語に改められています。)

Inabataとフランス

稲畑産業の現地法人、Inabata France S.A.S.は、フランスの首都パリの近郊リセにあります。1990年に設立され、Inabata Europe S.A.に次ぐヨーロッパでの2番目の拠点となりました。現在、主に化学品の輸出入販売を行い、事業を拡大しています。

またエルブーフにある製造子会社のPharmasynthese S.A.S.は、医薬・化粧品市場を中心とした医薬品関連ビジネスを拡張しています。



Inabata France S.A.S.(左)とPharmasynthese S.A.S.(右)

T O P I C S

各種展示会に出展

当社の電子機能材本部は、7月28日～30日に開催された「第21回マイクロマシン/MEMS展」(東京ビッグサイト)に出展しました。同展示会は、MEMS、ナノテク、バイオに関わる製



第21回マイクロマシン/MEMS展

品・技術・システムを集めた国内最大規模のMEMS専門展示会で、当社はマスクアライナー装置、気相表面改質装置などの装置を展示しました。

一方、9月27日～29日に開催された第15回中国国際塗料展「CHINA COAT 2010」(中国・広州市)に、当社のグループ会社、上海稲畑産業貿易有限公司(中国・合成樹脂、化学品等の輸出入販売)とNobel NC Co.,Ltd.(タイ・硝化綿製造)が共同出展しました。塗料用原料、設備メーカーを中心に、中国の内外600社以上が出展

し、当社ブースでは、硝化綿、イソシアネート硬化剤、顔料、反射塗料などを展示しました。



CHINA COAT 2010

COC認証を取得

当社の住環境本部は、持続可能な方法で育てられた輸入木材が最終製品となるまで環境に配慮した加工・流通がなされていることを証明する「COC(Chain of Custody/加工流通過程の管理)認証」をこの度、取得しました。

当社では既に従来から、国際的な森林認証制度で認定された森林の木材を多く調達してきましたが、今後一層、環境適合性に配慮しながら、付加価値の高い商材をお届けできるよう努めてまいります。

映画試写実験成功の地に駒札

京都市中京区、高瀬川沿いの立誠小学校跡地。創業者・稲畑勝太郎が同地で映画の試写実験に初めて成功したことを記念し、京都市がこの度、同地に「日本映画発祥の地」と題する駒札を設置しました。

勝太郎は、1897年1月下旬から2月上旬にかけての雪降る夜、電気事情に苦心の末、同地でフランスで発明されたばかりの映写機シネマトグラフの試写実験を行いました。実験成功の後、勝太郎は同年、大阪難波・南地演舞場で日本初の映画

興行を実現しました。



立誠小学校跡地
(京都市中京区蛸薬師通河原町東入ル備前島町310-1)

1890-2010
120
YEARS



パイオニアのDNA

受け継がれる創業者の精神

十九世紀末 日本の近代化というミッションを背負って
海を渡った十五歳の少年の夢は
幾多の試練を乗り越えながらも着実に実現していきました
挫折と成功のはざままで彼を支え続けたのは
自らの信念に対する真摯な姿勢と不屈のチャレンジ精神でした
この創業者・稲畑勝太郎のパイオニア精神こそ
今日の稲畑産業に受け継がれているDNAなのです
私たち稲畑産業は、刻々と変化する時代の中で
常に新たな可能性に挑戦し
新しい価値、そして未来を創造してまいります

IK INABATA & CO., LTD.

www.inabata.co.jp

